

平成25年度予算見積調書

課室名：農業ビジネス支援課

担当名：販売対策・農商工連携担当

内線：4107

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B10	海外新規販路開拓事業			一般会計	農林水産業費	農業費	食品流通対策費	海外新規販路対策事業費	
事業期間	平成24年度～平成27年度	根拠法令	なし				戦略項目	08 埼玉農業の競争力強化	
							分野施策	030201 収益力ある農業の確立	
1 事業の概要 近年のアジア諸国の経済発展や、我が国の少子高齢化に伴うマーケットの縮小も見据えると海外に販路を求めることは重要である。 そこで、埼玉農産物を新たに海外へ輸出する産地への活動支援を行う。 また、県産農産物の魅力を伝え、輸出に係わる情報を収集するために、商社等これまで輸出実績のあるバイヤーや国内の実需者などを対象にした試食商談・情報交換会、及び海外での見本市・情報交換会を開催する (1) 商談会等参加支援 1,200千円 (2) 県推進事業 5,889千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 商談会等参加支援 1,200千円 埼玉農産物を新たに海外へ輸出する産地への活動支援を行う。 イ 県推進事業 5,889千円 輸出にかかわる試食商談・情報交換会等の開催、及び輸出関連情報の収集と産地への提供、輸出に係わる支援業務の実施 (2) 事業計画 ア 輸出活動支援産地 4産地 イ 試食商談・情報交換会の開催 2回 各国の輸入規制など農産物輸出状況や商談会開催状況の情報収集、情報提供 30回 新たな輸出品目の検討と支援活動 10回 新たな輸出先(ベトナム)において、狭山茶をはじめとした埼玉農産物等の見本市・情報交換会を開催 1回 (3) 事業効果 県産農産物及びその加工品の輸出品目数 平成23年度末：19品目 → 平成28年度末：30品目 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 日本貿易振興機構(JETRO)や(財)埼玉県産業振興公社(埼玉国際ビジネスサポートセンター)との連携を図り、効果的な事業実施を図る。 (5) その他 24年度との変更点 新たな輸出先(ベトナム)において、狭山茶をはじめとした埼玉農産物等の見本市・情報交換会を開催する。					
2 事業主体及び負担区分 (1) 事業主体：県(県10/10) (2) 事業主体：県(県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1人=9,500千円									
財 源 内 訳									
予算額		諸収入						一般財源	前年との対比
決定額	7,089	65						7,024	1,198
前年額	5,891	180						5,711	